

# なぎさ

京急のまちマガジン  
August 2022 No.634

特集 京急田浦駅  
谷戸に暮らすアーティストたち



# 三浦海岸の海水浴

こども二人は小学生  
三浦海岸駅をおりて  
はりきって海まで五分あるく

海の家では

大きなずんどうの小さな蛇口から  
おいしい麦茶が飲み放題

帰りの電車にあふれる

すつかり日焼けした家族たち

運よく席につければ

幸せな眠りにはいる

楽しい「密」から四十年ほどたつ

作／ペンネーム・四丁目の夕日



## あなたにとっての京急を詩にしてみませんか？

「忘れられないあの日の車内アナウンス」「学生時代に通った、恋人とデートしたあの駅・あのまち」  
京急沿線の思い出、お気に入りの電車や駅、車窓の風景など、『なぎさ』に掲載する詩を募集しています。

- 応募方法／はがきか封書、またはEメールに下記必要事項をご記入の上、ご応募ください。  
①詩とタイトル(詩は300字程度) ②郵便番号、住所 ③氏名(匿名希望の場合はペンネームも) ④年齢 ⑤性別  
⑥電話番号、(Eメール応募の場合)メールアドレス ⑦本誌のご感想
- 締め切り／8月15日(月)消印有効
- 応募先／〒220-0011 横浜市区高島1丁目2番8号 ㈱京急アドエンタープライズ『なぎさ』634号 詩募集係  
E-mail: nagisa.hiroba\_e37@keikyu-group.jp

※掲載された方には京急オリジナルQUOカード(1,000円分)を進呈します ※作品の掲載発表は冊子の発行をもって代えさせていただきます。  
応募作品は返却いたしません。誤字など応募作品に一部加筆・修正させていただく場合があります ※応募作品の使用権は京浜急行電鉄㈱  
に帰属します。発表の作品に著作権侵害等が発生した場合、一切の責任は負いかねます

### 読者プレゼントはWEB応募になりました！

右の二次元コードを読み込んでアンケートに回答してくださった方の中から、  
抽選で京急オリジナルQUOカード 1,000円分(20名さま)をプレゼント！

[ 締め切り ] 8月21日(日) 23:59



※ご応募いただいた方の個人情報、作品掲載および賞品の発送以外の目的で使用することはございません

特集 京急田浦駅

## 谷戸に暮らすアーティストたち

かつておおぜいの人々が暮らした、横須賀市の市営住宅跡地が  
アーティスト村「HIRAKU (ヒラク)」として生まれ変わった。

京急田浦駅から車でわずか10分という利便性と、  
森に囲まれた谷間の“谷戸”の自然を楽しむ田浦の地。

ここに暮らし、活動する4人のアーティストを訪ねた。





現代美術家  
山本 愛子さん

1991年、神奈川県生まれ。東京藝術大学大学院先端芸術表現科修了。絹布、繭糸、天然染料などの自然素材および廃材を用いて、ものの持つ土着性や記憶の在りかを主題とした作品を制作している。



土器作家  
薬王寺 太一さん

1975年、東京都生まれ。大学在学中に陶芸をはじめ。山梨と佐賀の窯元での修業を経て、南フランスの博物館で中南米の土器や土偶に衝撃を受け、プリミティブな表現・創造・生き方に傾倒する。

## 田浦の自然とあたたかな人たちと出会う

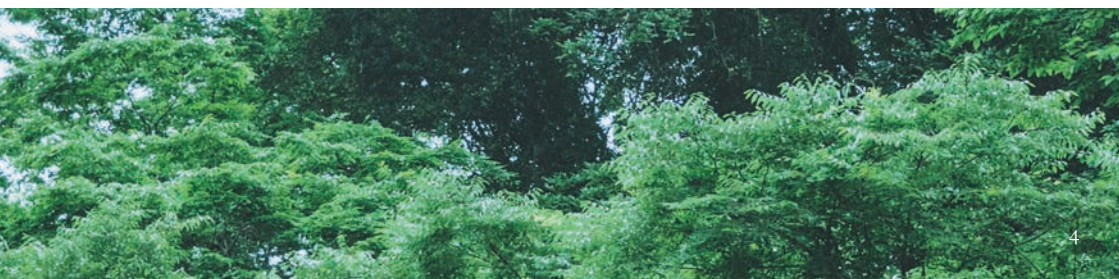
暮らし、づくり、関わることで見えてきた田浦の魅力とは？

2 018年に、横須賀市田浦泉町の市営住宅跡地につくられたアーティスト村「H I R A K U」。横須賀市がかつ

ての長屋をリノベーションし、現在、4人のアーティストが暮らし、制作しながら、アートを介して地域の活性化に取り組んでいる。この土地の何よりの魅力は、谷戸の自然と人里が織りなす調和だ。

「ここには貴重なシダなどの植生が残っていたり珍しい渡り鳥が来たりと、自然と里の感じがすごくいい」と話すのは、土器作家・薬王寺太一さん。地域に根ざして創作をしたいと、18年に第1村民となった。

アジア各地に滞在しながら染色で作品制作を行っていた現代美術家・山本愛子さんも、この土地の自然に引かれたひとりで、「20年に制作滞在していた台湾から、日本に戻るタイミングでここを知りました。アトリエの前を流れる川がとてきれいで、ホタルが出ると知り魅力に感じて」「横須賀というと海軍や都会のイメージ





### 平面作家 水戸部 春菜さん

1995年、神奈川県生まれ。東北芸術工科大学デザイン工学部グラフィックデザイン学科卒業。主に人間の動作や所作を捉えた躍動感あふれるドローイング作品を発表している。

### 漫画家・小説家 折原 みとさん

小説『時の輝き』『アナトゥール星伝』や同コミック版などで人気を博す。小説『天国の郵便ポスト』では逗子を、『幸福のパズル』では葉山を舞台にしている。神奈川県逗子市在住。

がありました。ここは夏にはセミの声がして、人もフレンドリーで……古きよき昭和にタイムスリップした気分ですね」と話すのは、こちらを創作拠点にする漫画家・小説家の折原みとさん。横須賀を舞台にした小説の創作をするため、現地の拠点を探していたときにアーティスト村の存在を知り、ひと目で気に入ったという。

長屋のコンクリート・木造棟は7棟あり、それぞれの制作スタイルにあわせてアトリエ・住居として改築。今年、2月に入居した水戸部春菜さんは美術大学を卒業後、平面作家として広いアトリエを探していた。

「このアトリエは、大きな絵を出し入れしやすいようにシャッターをつけました。それまでは、大きな作品を描くときに部屋の天井の高さが足りなくて、倉庫を借りていたんです。アトリエは広ければ広いほうがいいですね」

思う存分、制作に集中できる環境の中、それぞれに田浦の土地と人との関係を深めている。



# アートで人びとと地域をつないでいく

それぞれの表現活動を通して地域の人たちとの交流を深めている4人。HIRAKUの今とこれから……。



薬王寺さんが地元の陶芸家と地域の人と一緒に作った穴窯。地元の小中学生の作品を焼くことも。「田浦の土は鉄分が多い赤土で、穴窯で陶器を焼くときは耐火度の高い信楽の土と混ぜています。」

山本さんは、ここで暮らすようになってから自ら藍を育て染めるなど、草木染で制作をするようになったという。

「今日の展覧会では、梅やヨモギ、藍など田浦の植物を使った作品も展示しました。」

ご近所さんが、染めに使うようにと、タマネギの皮を持って来てくれたりします」

逗子からアトリエに通う折

原さんは、フキや梅などの自然の幸をご近所からもらうこともしばしばだ。「みんな気さくで親切な人ばかり。田浦や横須賀の魅力を伝える小説を書いて恩返ししたいですね」

ここに来てまだ日の浅い水戸部さんは、展覧会の前日、夜遅くまでジローという犬を描いたという。「毎日散歩に来る柴犬です。田浦にまつわ

この日、HIRAKUは川沿いで行われるホテルの観覧会と、アーティストの合同展覧会を目当てに、子どもからシニア世代まで多くの人たちでにぎわった。4人のアーティストの活動は徐々に周知され、地域に根づいている。

「地元の田浦小学校の総合学習として土づくりからまき割り、作品づくり、展示までトータルに陶芸を教えています」と薬王寺さん。「子どもたちは炎を見る機会が少ない。匂いや手の感触など五感で感じてもらういい機会になれば」

さまざまな土地の12種の草木で染めた、山本さんの作品「あわいのはた」。アトリエ前の畑で種から藍を育て、生葉染めしている。



水戸部さんが以前行った、こけしのワークショップに参加した近所の女性が、展覧会を見に来てくれた。



る作品を描きたいと思って。今朝、飼い主さんとジローが絵を見に来てくれたんですよ。土地を知り人を知ること、やりたいことも広がっている。「穴窯をつくったときに偶然、粘土層を見つけた。田浦の土は土器や、陶器の場合、信楽の土と混ぜて使っています。『田浦和泉焼』をブランドとして、広く発信していきたい。」



上/とところどころに土器や陶器が置かれた薬王寺さんのアトリエ。ここで土器の模様つけなどを行う。「壁は近所に住む塗装業者を親方に、みんなで塗りました」(薬王寺さん)。

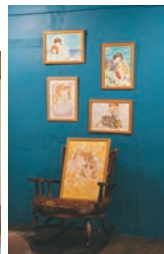
下/展覧会やホテルの観賞に集まってきたご近所さん。和気あいあいとした様子は、かつてこの場所が人びとでにぎわった古きよき時代をほうふつとさせる。

「きれいな川のそばで暮らすようになり、今まで以上に染料で汚さないよう循環を考えたいと思っています」と、山本さんは環境への思いを語る。「地域の人が作家に望んでいることに、積極的に取り組んでいきたい。自分の制作もがんばります」と水戸部さん。折原さんは、あたためている小説の構想を教えてください。「横須賀が舞台の小説は、家

や土地をテーマに書こうと思っているんです。人の気配がしなくなると、家も土地もすぐにさびれてしまう。この場所もそうだったのだと思います。再び人が入ってきて、手を入れて、近所の人たちが集まってくるようになった。すると家も土地もよるこんでいる気がするんです」ここ田浦で、あたたかなコミュニティが日々、育まれている。

### 初の合同展覧会「感覚をひらく展」

共同スペースと折原さんのアトリエの2会場で開催された、初めての展覧会。田浦の自然や人びととの交流から生まれた作品も展示。タイトルには「作品をきっかけに、五感をひらいてこの場所を楽しんでほしい」という願いが込められている。



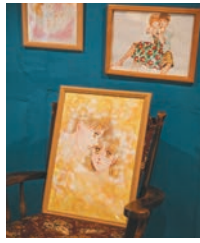
# ビフォー・アフター

横須賀を舞台に小説を執筆すべく、H I R A K U にアトリエを構えた折原みとさん。「昭和レトロ」をコンセプトに、知人や地域の人の手を借りてリノベーションを行った。

## 折原みとさんのアトリエ リノベーション



アトリエ前のデッキにて、お気に入りの紅葉の木の下でつづく折原さん。



一点豪華主義で  
レトロな雰囲気演出



Before

築60年近くになるコンクリートブロック棟の2戸の壁を抜いて、ひとつの空間に。アトリエ兼コミュニティスペースとして、リノベーションすることにした。



中古家具で  
SDGs な空間づくり



After

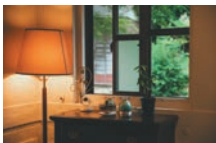


天井と床を壊してスケルトンに戻し、全面改修。こだわりは左手の大きな窓とベレットストーブ。そして広いデッキ。「壁や天井は自分たちで塗装して、節約したんです」(折原さん)。



After

家具や照明のほとんどが、知人や地域の人から不要になったものを譲り受けた。業務用コンロとシンクを完備したキッチンで、カフェもできる仕様に。



「私のアトリエはワイワイ人の集まる場所にしていきます。地域の会合やクリスマス会など、近所の人にとんどん使ってほしいですね」と折原さん。今後は、営業許可をとって、不定期の「気まぐれカフェ」を開いてみたいと、夢をふくらませている。



# 京急電鉄の謎 38

## 楠山永雄コレクションから紐解く 三浦半島の夏

### 現

在の横浜市金沢区に湘南電気鉄道が開通し、金沢文庫駅、金沢八景駅、臨時の湘南富岡駅（現：京急富岡駅）が開業したのは1930（昭和5）年のこと。当時は主に横須賀の軍関連施設に勤める人が利用していたとい

うが、翌年に京浜電気鉄道（現：京急電鉄）と日ノ出町で連絡し、33年に品川と浦賀間の直通運転が開始されると、海水浴などのレジャー利用もさかんに。以来、各社では誘致のパンフレットがつくられた。江戸時代から風光明媚な地と

して名高い金沢八景も、1970年代に埋め立て事業が着工するまでは海水浴客でにぎわったという。パンフレットでは「白砂に並ぶ翠緑の古松、海岸は砂濱広く、遠浅で浪静か、清澄な海水等、環境の美と共に海水浴の理想地」とうたい、海の家から

この夏、同館では、金沢八景を中心とした資料群「楠山永雄コレクション」のうち、鉄道関連のパンフレットや切符などが展示される。当時の光景を鮮やかに映した資料を眺めると、三浦半島の夏の魅力を再発見できそうだ。



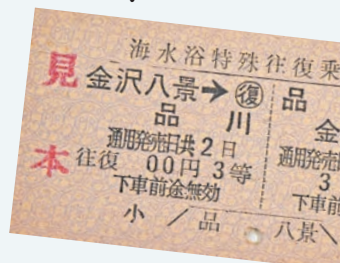
1932（昭和7）年に湘南電気鉄道が発行した海水浴のパンフレット。旗はすべて海水浴場。



当時の特徴的な海の家が描かれ、「上用の波（大波は来ない）」ことをアピール。



昭和20年代には、観音崎や猿島でのキャンプの案内も。



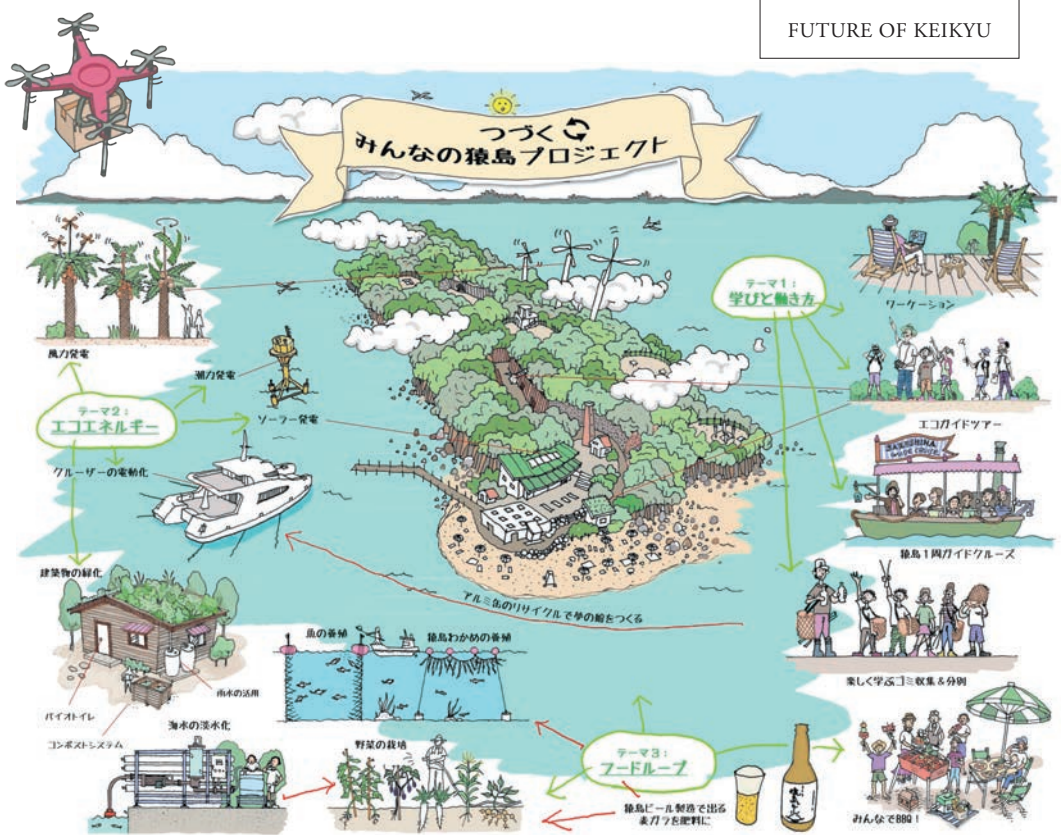
昭和40年代の品川—金沢八景間の海水浴特殊往復乗車券見本（実寸大）。

鉄道開通150年記念 企画展  
湘南電鉄と県立金沢文庫  
—楠山永雄コレクション鉄道資料—

会場／神奈川県立金沢文庫  
会期／開催中～2022年9月11日(日)  
観覧時間／9:00～16:30（入館は16:00まで）  
休館日／月曜日、8月12日(金)

[https://www.planet.pref.kanagawa.jp/city/bunko/tenji\(shonandentetsu\).html](https://www.planet.pref.kanagawa.jp/city/bunko/tenji(shonandentetsu).html)

※資料はすべて、楠山永雄コレクション（神奈川県立金沢文庫）



2 020年10月、横須賀市にある(株)トライアングルが発起人となり、猿島版SDGs (Sustainable Development Goals) 「つづくみんなの猿島プロジェクト」がスタートした。SDGsとは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。環境、食料、教育など17のゴールから構成さ

れている。「東京湾にある島のうち、猿島は唯一の自然島。要塞だった歴史もあり、明治時代につくられた砲台跡は国史跡に指定されています。プロジェクトは、貴重な自然や文化財を守るために、今できることを考えようという思いではじまりました」と、同社営業企画部の水上比弥さん(みずがみひな)と、国際目標のSDGsにならない、「2030年までに実現したい猿島の像」は17ほど。今年の

いま、見えてくる  
京急沿線の未来

File. 38

東京湾の宝島を守れ！  
猿島版 SDGs

(株)トライアングル

## SARUSHIMA

### 猿島



写真/濱津和貴

横須賀中央駅から徒歩約15分、三笠橋橋で乗船し約10分。周囲約1.6kmの無人島で、釣りや海水浴、バーベキューなどに年間20万人以上が訪れる。レンガ積みのトンネルや砲台跡もあり、タイムトリップ感が味わえる。撮影スポットとしても人気。詳細は、<https://sarushima.jp>

### エコステーション

ゴミを、燃えるゴミ、ビン、スチール缶、アルミ缶、ペットボトル、プラスチックの6種に分別するエコステーション。

### ワケケとケルル

ゴミの分別に詳しいおさるの「ワケケ」と勉強中の「ケルル」。おさるの仲間は、今後増えていくかも!?



ワケケ

ケルル



横須賀市出身の水上山さん(右)と菅部さん(左)。「そこにあるのが当たり前」の存在だった猿島を未来につなげるために奮闘中!

### つづく

### みんなの猿島プロジェクト

2020年10月30日に開催された「猿島ミーティング」をスタートアップに始動。現在、トライアングルをはじめ、京急電鉄、かながわ信用金庫、三浦学苑高等学校など12の企業・団体が参加している。右は、未来を見据えた猿島のイメージ。  
<https://sarushima-eco.com>

「『資源が循環できる島』を目指したエコステーションが設置された。これまで3種類だったゴミの分別を6種類に細分化することで、捨てられていたゴミを資源として回収する。スチール缶は鉄に、ペットボトルはポリエステル繊維に。アルミ缶は猿島を運航する新しいフェリーの素材としてリサイクルされる構想があり、ゴミの未来は観光客が分別するモチベーションになっていく。同部の菅部晃誠さんは、「とくに若い世代の人が積極的に分別しているのが印象的です。分別をきっかけに親子間のコミュニケーションも生まれていくようですよ」と話す。

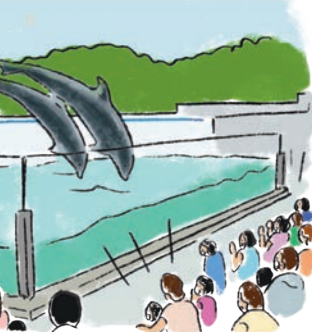
現在は、島周辺の海洋生態系によって貯留される炭素・ブルーカーボンを数字で可視化する研究や、猿島ビールの製造で出る麦ガラを野菜の肥料にするフードループの仕組みづくりなども検討中だという。「猿島の魅力は、訪れるだけで学びがあること」と水上さん。「将来的には、企業などが開発したエコ商品や技術の実証実験を行える『環境シヨールーム』になることを目指しています」プロジェクトが始動してまもなく2年。猿島では、環境、観光、学びの循環が生まれはじめている。



### (株)トライアングル

1986年に日本初の民間海難救助会社として創業。1995年に猿島航路の運航を開始して以来、島の管理も担う。ほか、YOKOSUKA軍港めぐりや浦賀の渡し船の運航など、横須賀の海上を中心としたレジャーを手がける。

横須賀ポータルマガジン <https://yokosuka-portal.jp>  
トライアングルHP <https://www.tryangle-web.com>



都内初のイルカショー。  
水がかかるのもご愛嬌。  
間近で見られるイルカの  
ジャンプは迫力満点。



子どもも楽しめる  
本物の真珠取り出し体験。  
色や形はあたるしみに♪

※貝がなくなり次第終了。混雑時には  
中止になる可能性もあります



## C しながわ区民公園

芝生広場や屋外プール、バーベキュー場などもある  
憩いの場。勝島南運河を利用してつくられた人工湖  
「勝島の海」は、かつての海岸をほうふつさせると  
ともに海水を浄化して運河に戻す役割も持つ。

☎ 03-3762-0655 (しながわ区民公園管理事務所)

📍 品川区勝島 3-2-2 🚶 駅から徒歩約 8 分 🕒 6:00  
～20:30 ※一部要予約、有料の施設があります

子だくさんのこま犬は  
子宝、出産、家庭円満  
のシンボル。



## D 磐井神社

573年8月の創建と伝わり、「延喜式神名帳」に載る神社。徳川家の将軍からの崇敬もあつかったという。四季折々の草木が境内を彩り、夏は参拝客の願いが込められた風鈴が風にゆれる。夏詣参加神社。

☎ 03-3761-2931 📍 大田区大森北 2-20-8 🚶 駅から徒歩約 3 分 🌬 風鈴棚  
用短冊 100円 [8月31日(水)まで] 🕒 9:30～16:30 (御朱印受付時間)

京急に乗って夏詣に行こう!

開催期間 / 2022年 8月 31日 (水) まで

年の半分の節目に、神社・仏閣へ平穩祈願。参加神社  
16社の御朱印を受けると、先着でオリジナルグッズをプ  
レゼント! 詳しくは京急 HP ([https://www.keikyu.  
co.jp/cp/natsumode2022/index.html](https://www.keikyu.co.jp/cp/natsumode2022/index.html)) へ。

ひと駅ごとに行きたいまち

# 京急線 普通電車の旅

2nd Season / vol.05

おもりがいがん

大森海岸駅 編

72.馬車をぐるりと  
まわって再出発!

## 海水浴場からはじまった街

明治時代に東京湾初の海水浴場が誕生し、昭和30年代までリゾート地としてにぎわった大森海岸エリア。京浜工業地帯の一端を担ってからも、当時の名残がそこかしこに。歴史に思いをはせて、クラシックなバカンス気分を味わおう。

## この街のおもしろポイント 5

- 1 国道15号がかつての海岸線だった
- 2 明治から昭和初期までは芸妓が歩く花街でもあった
- 3 水族館は勝島南運河の水も利用している
- 4 ドラマや映画のロケ地になったスポットも
- 5 町には「初」がいっぱい!



## B しながわ水族館

テーマは水辺とのふれあい。近郊の海を再現した水槽や、水中にいる気分を味わえるトンネル水槽などをめぐり、多様な角度で海を体感できる。2027年にリニューアル予定。

☎03-3762-3433 ㊟品川区勝島3-2-1(しながわ区民公園内) ㊦駅から徒歩約8分 ㊧10:00~17:00(入館は16:30まで) ㊨火曜日(8月は営業) ㊩高校生以上1,350円、小学生以上600円ほか ※営業日時やアクティビティーの詳細はHPをご確認ください



季節の変わり  
そばは  
海苔入り!



品川・大田は  
日本初の  
海苔の養殖地。

ごま油で揚げる  
のが江戸前流。  
自身魚のゆずが  
アクセント。



のれんを守る  
3代目の伊島巧さん。  
すだちが浮いたそばは、  
目にも涼しい。

## A 布恒更科

江戸時代にはじまった総本家の系譜を継ぐ更科そば店。1963年の創業以来変わらない店内が昭和の風情を伝える。そば粉に旬の食材を練り込む更科のお家芸で、夏を感じる一杯を。

☎03-3761-7373 ㊟品川区南大井3-18-8 ㊦駅から徒歩約5分 ㊧11:30~15:00 (LO14:40)、17:00~20:30 (LO19:50) ※祝日はランチのみ ㊨日曜日 ㊩季節のおそば1,320円、季節の変わりそば1,150円



もつ家大西 大森本店

もつ専門店ながら鶏の唐揚げも逸品で! 夜勤の駅係員さんたちも夜ごはんにテイクアウトする。濃い味付けで食欲増進! 54個入り520円。



## E 天富久

ランチタイムは行列必至。1957年創業の江戸前天ぶら店。朝締めの穴子は衣がサクッと身はふんわり。野菜はみずみずしい。2代目の村口太郎さんが伝統を進化させながら揚げる天ぶらは、おなががいっぱいになってもたれない。

☎03-3766-1029 ㊟大田区大森北1-26-2 ㊦駅から徒歩約10分 ㊧11:00~LO14:00 ※ランチは天井のみ、18:00以降は予約営業 ㊨月曜日ほか ㊩江戸前活穴子入り天井2,000円

### 時代に寄り添い進化してきた海辺のレジャー街



大森海岸駅  
高橋 勇人さん

「しながわ区民公園」や映画館「キネカ大森」、商業施設があり、遊びやすだけでなく暮らしやすさもある街です。お客さまに「海岸はどこですか?」と聞かれることもあります。今はもうビーチはないのでご注意ください!

京急電鉄

駅前フードジャーニーがやってくる！



セブン-イレブン京急 ST 三崎口店と三浦海岸駅改札口に、かき氷やたこ焼きなど日替わりで多様なジャンルフードキッチンカーが登場。お祭り気分も味わえるかも！  
※出店状況などによっては中止となる場合がございます

■開催場所 / 三崎口駅 セブン-イレブン京急 ST 三崎口店裏駐車場奥、三浦海岸駅改札口前 ■開催日時 / 8月28日(日)までの土日祝の10:00～19:00 ※8月11日(木・祝)～16日(火)は毎日営業 ■詳細 / <https://miuracocon.com>

京急電鉄

夏詣キャンペーン 2022 に行こう！

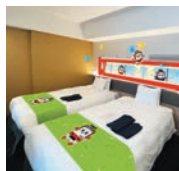


普通電車の旅 (P12) でご紹介した16の神社をめぐる夏詣。参加神社で御朱印を受けた方にオリジナルグッズなどを先着でプレゼント。車内をてぬい風の特典中吊りポスターで涼しげに彩った「京急夏詣号」も運行中です。

■実施期間 / 8月31日(水)まで ■詳細 / <https://www.keikyu.co.jp/cp/natsumode2022/index.html>  
■お問い合わせ / 045-225-9696 (京急ご案内センター)

京急 EX イン

京急グループ初の「けいきゅんルーム」販売中



客室装飾はイメージです

(株)京急イーエックスインは、創立15周年を記念し、京急電鉄マスコットキャラクターのコンセプトルーム「けいきゅんルーム」と「京急電鉄ルーム」を販売しています。この機会にぜひご利用ください。

■宿泊期間 / 2023年3月31日(金)まで ■実施店舗 / 「けいきゅんルーム」京急 EX イン 羽田インベーションシティ ([hanedainv@keikyu-exinn.co.jp](mailto:hanedainv@keikyu-exinn.co.jp))、京急 EX イン 京急蒲田駅前 (03-5703-3910 / 9:00～17:00)、「京急電鉄ルーム」京急 EX イン 横浜駅東口 (045-441-3910 / 9:00～17:00) ■詳細 / <https://www.keikyu-exinn.co.jp/15th> ■お問い合わせ / 各実施店舗へ

京急百貨店

親子で楽しく学べる「夏休みSDGsフェア」

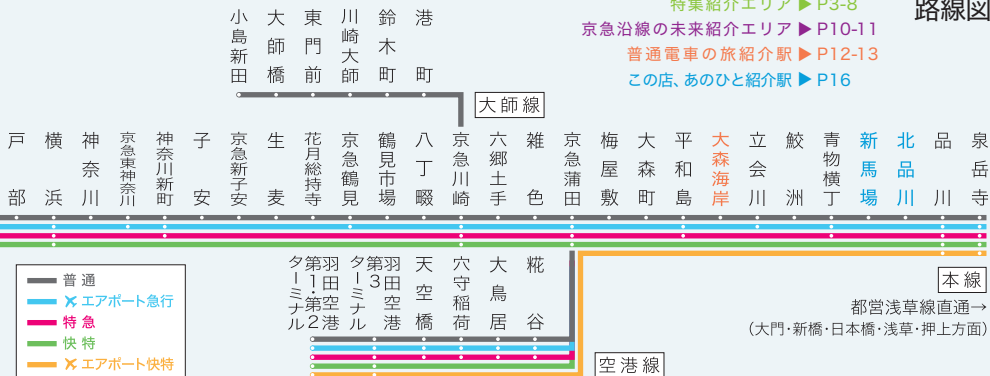


「親子でエコバッグを作ろう！」や「ごみの分別ゲーム」などのワークショップ、子ども縁日や地元ダンススクールの生徒によるステージを日替わりで開催！8月5日(金)、6日(土)は「けいきゅん」も登場♪

■開催期間 / 8月5日(金)～7日(日) ※5日(金)、6日(土)は18:00、7日(日)は17:00まで ■会場 / 京急百貨店7階催事場 ■詳細 / <https://www.keikyu-depart.com>  
■お問い合わせ / 045-848-1111 (代表)

路線図

特集紹介エリア ▶ P3-8  
京急沿線の未来紹介エリア ▶ P10-11  
普通電車の旅紹介 ▶ P12-13  
この店、あのひと紹介 ▶ P16



京急沿線マガジン「なぎさ」「MIULIKE」バックナンバーは、京急電鉄オフィシャルサイト「KEIKYU WEB」でお楽しみください。



# INFORMATION 京急沿線の新着&おでかけ情報

京急グループ

## 京急ギョギョギョOFFフェア第2弾開催中



夏休みのお子さま向けに海や魚に関する「全部解けたらすぎょい! わくわく海のクイズラリー」を開催中です。コースは2つ。「さかなクン」や映画『さかなのこ』主演「のん」の等身大パネルを①京急線駅構内や京急グループ施設と②横浜・八景島シーパラダイスの2コースに各5カ所設置し、いずれかのコースで全問正解の方に、抽選で本マグロ1kgなどをプレゼント! さらに、「KEIKYU BLUE SKY TRAIN」を「京急ギョギョギョOFFフェア号」と命名し、SDGs 啓発に向けたトレインジャック列車として運行しているほか、金沢八景駅では、「さかなクン」と「のん」によるSDGs 啓発や駅構内・電車内の安全推進を目的とした駅構内放送を実施中です。

- 開催期間/8月31日(水)まで
- 詳細/ <https://www.keikyu.co.jp/cp/gyogyo2022>
- お問い合わせ/045-225-9696 (京急ご案内センター)

京急電鉄

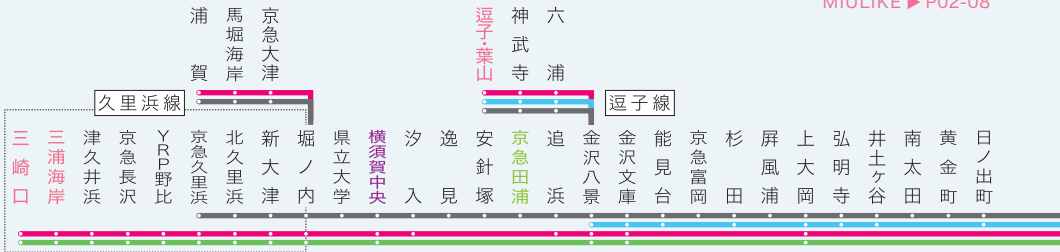
## 「デジタルみさきまぐるきっぷ」発売! 三浦・三崎をもっと楽しむ 「おもひで券 PLUS」が新登場



7月20日(水)、スマホで便利におトクに買える「デジタルみさきまぐるきっぷ」の発売を開始しました。デジタル化にあわせ、「三浦・三崎おもひで券」に特別な体験を“プラス”した「おもひで券 PLUS」をご用意。また、夏季限定で、和田長浜海水浴場の「海の家」と三浦海岸駅・三崎口駅で出店するキッチンカーでも「三浦・三崎おもひで券」が利用できます。夏休みに「みさきまぐるきっぷ」を片手に三浦・三崎へ電車の旅を楽しみませんか?

- 詳細 / [https://www.keikyu.co.jp/visit/otoku/otoku\\_maguro/facility.html](https://www.keikyu.co.jp/visit/otoku/otoku_maguro/facility.html) ※「デジタルみさきまぐるきっぷ」は駅での販売はありません。ご購入は三浦 COCOON のサイトから <https://miuracocoon.com>

MIULIKE ▶ P02-08



京急線の時刻や運賃など京急に関するお問い合わせは  
京急ご案内センター (受付時間) 9:00~17:00 年末年始は休業  
※営業時間は変更となる場合がございます。  
**03-5789-8686 / 045-225-9696**  
京急ホームページ [www.keikyu.co.jp](http://www.keikyu.co.jp)

なぎさ 634号 MIULIKE Vol.18 2022年8月1日発行  
発行/京浜急行電鉄株式会社  
〒220-8625 横浜市西区高島1丁目2番8号  
☎ 03-5789-8686 / 045-225-9696  
編集/株式会社京急アドエンタープライズ 印刷/山陽印刷株式会社

次号は、2022年10月1日(土) MIULIKEとの合併号を発行予定です



新馬場駅・北品川駅

氷がキャンパス!? なかき氷  
いちようの木



右ノ「アボカドラム おにぎりサイズ」(700円、写真右)は高さ約20cmでおひとりさまサイズ。「紫陽花」(1,000円)は塩抹茶クリームを搦ずんだにするのもオススメ。アルコール抜きなども相談できる。下ノお店は1979年の創業から変わらないたたずまい。目印は戦前からあるという大きないちようの木。



新馬場駅もしくは北品川駅から徒歩約4分。旧東海道に通じる裏通りにある「いちようの木」は、かき氷専門の甘味処。旬の果物や季節のモチーフが大胆にのった一皿は「アート作品みたい」だと話題だ。

店主の今智子いんちこさんが母親から「いちようの木」を受け継いだのは、15年ほど前。以来、メニューをかき氷のみにし、一年を通してアートな氷を提供するようになった。海外のファッション誌などからインスピレーションを得てつくるメニューは常時20種類以上。美大で油絵を学んできた今さんは、「氷の上に色を重ねていくのは楽しい」と話す。

メレンゲでできた女性が座る「アボカドラム」は、まるで海外のビーチを切り取ったよう。カラフルな寒天細工が表面を丸く覆うのは「紫陽花」。写真映えするかき氷のファンは多く、遠方から来る常連客もいるという。

人気の理由は味にもある。

「アボカドラム」は、アボカドとココナッツが調和した濃厚なソースがメイン。隠れた塩ラムレーズンとラム酒でカクテルのような味わいだ。「紫陽花」は、コーヒータクアセソトになった塩抹茶クリームがとろり。その下には黒蜜とミルクミント。ほろ苦さと塩味のとろりと、さわやかな甘みが広がる。すくうごとに変化していく味にワクワクする。

「こだわりのないのがこだわり。自由に食べてほしい」と今さん。この夏、五感で楽しむクールなアートを堪能しよう。

## いちようの木

📍 品川区北品川 1-28-14

🕒 11:30 ~ 17:00

📅 月・木曜日 ※土日は予約制

✉ ichounoki1979@gmail.com

🌐 <https://ameblo.jp/ichounoki1979>

※お問い合わせはメールで。来店時の注意事項などはブログをご確認ください